

大隅半島ノウフクコンソーシアムの取り組みについて

2023.10.28

農と福祉がつながって、日本を元気に！



PROJECT

大隅半島ノウフクコンソーシアム 理事

結城 康文

自己紹介

結城 康文

1983年4月15日（40歳）

三重県志摩市出身

鹿児島県鹿屋市にある敬心グループでグループ内での農福連携を推進するため、株式会社ひまわり農苑 役員（農業サイド）と社会福祉法人 職員（福祉サイド）とを兼務し、2足の草鞋を履く。

2023年度より
大隅半島ノウフクコンソーシアム 理事



(社福) 敬心会グループの紹介

敬心グループ

社会福祉法人
敬心会
(福祉 11拠点)

株式会社
ケイシン
(福祉 9拠点)

株式会社
ひまわり農苑
(農業・加工)

有限会社
ダイナミック
(イベント企画・食材配送
等)

その他
NPO法人等



取組みと、想い

- ・(株) ひまわり農苑×(社) 敬心会 太陽の丘 (グループ内連携型)
農福連携をまんやかに置き、約4haの田畑を耕す他、自社農産物の6次化をおこない加工品の製造、販売もおこなう
- ・地域農家様との農福連携
社会福祉法人 敬心会 太陽の丘の職員、ご利用者様と共に株式会社 今村製茶様への施設外就労(2020年頃より)をスタート、同取り組みは鹿児島県の農福連携の優良事例となる(今年からイチゴ農家様とのイチゴ農福にもチャレンジ!)
- ・その他にはグループ内で多機能型事業所(就労A・B)として農産物直売所を運営する他、農福×観光として民泊施設のハウスクリーニング、環境整備などもおこなう



農福連携×食育



農産物直売所 かやの郷
ノウフクコーナー



今村製茶様×敬心会(ひまわり農苑)
ノウフクプロダクト

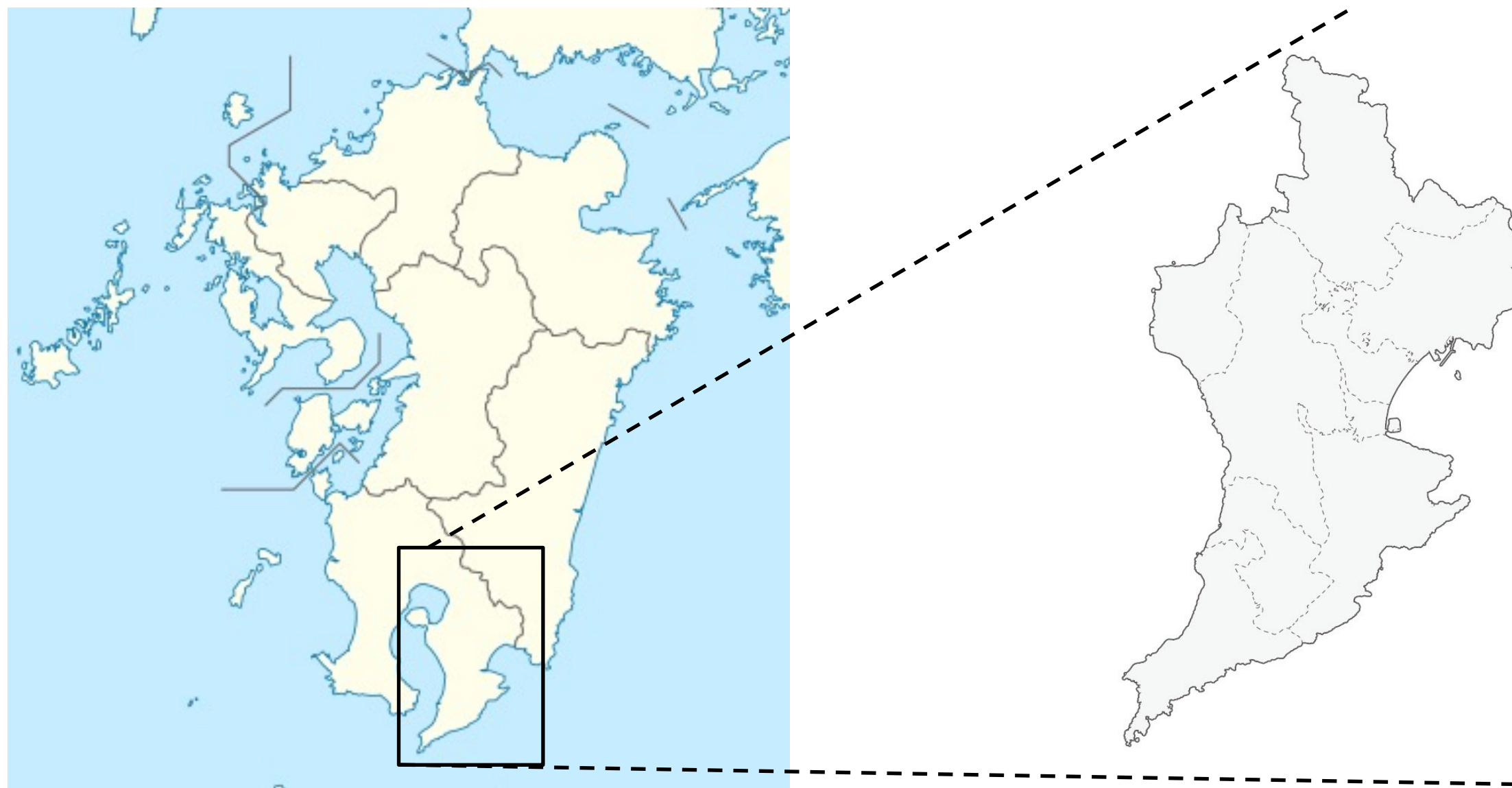
農福連携を通じて、多様な人たちと共に

「だれひとり取り残さない」

関わるみんなが自己実現やチャレンジできる場所づくりを。
これからもいっしょに。



大隅半島ってどこ？



4 市：鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、
5 町：曾於郡大崎町、肝属郡東串良町、肝付町、錦江町、南大隅町

大隅半島ノウフクコンソーシアム設立

令和3年5月13日

大隅半島ノウフクコンソーシアム設立

目的

規約条文より

コンソーシアムは、農業サイドの労働力不足、福祉サイドの販売力強化や障がい者の低工賃という課題を解消しつつ、農業のもつ多様な人材を生かす福祉力が発揮できるよう、大隅地域で農福連携を実践している団体を結びつけるプラットフォームとなる。また、農福連携を知らない、施設外就労に新たに取り組みたいという事業者に農福連携を知るきっかけ作りやサポートの場を提供し、新たな仲間づくり、大隅地域全体の農業振興を図る。



大隅半島における農福連携（設立前）

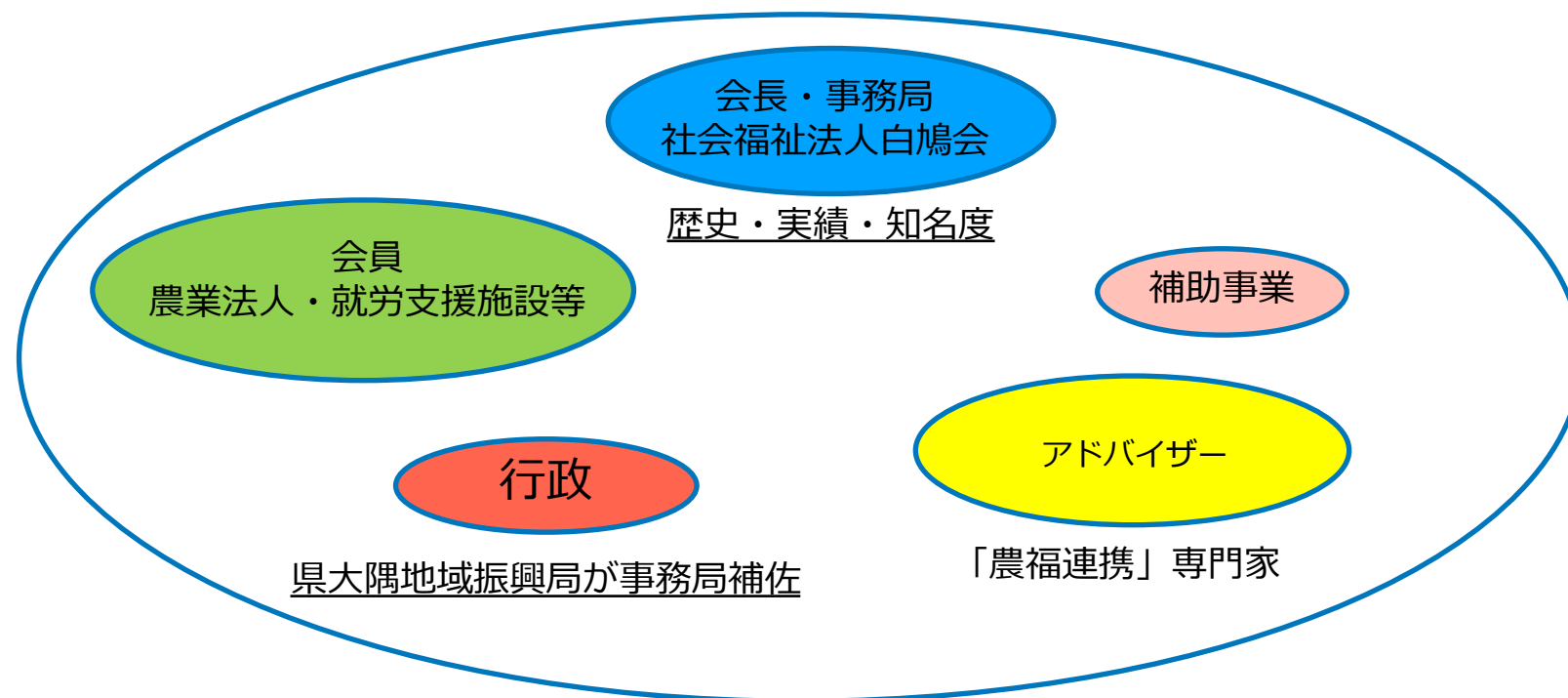
- ・ R元年から鹿屋市と県大隅地域振興局が地域の農福連携を支援しており、行政と取組主体との関係が構築されつつある。
- ・ 大隅半島には障害福祉サービス事業所が46施設あり、1,333名の障がい者の方々を支援する施設がある。

※大隅地域振興局保健福祉環境部保健福祉課「令和4年5月1日時点の大隅地域の障害福祉サービス事業所一覧」より

- ・ 農福連携に取り組む事業者数は20件以上。（福祉側・農業側）
- ・ 約33%の福祉事業所が農福連携に関係しているが、まだまだ少なく、マッチングなどにおいて課題が山積される。
- ・ 県下でも農福連携の先駆事例は多いが、点的な取組み。

大隅半島ノウフクコンソーシアム設立へ

1. 地域で「農福連携」を実践している農業法人・福祉事業者、それらを支援している市町が参画する組織設立
→ 地域のプラットフォームへ
2. 組織活動費に県公募や国の補助事業を活用
3. 県大隅地域振興局がバックアップ



大隅半島ノウフクコンソーシアム設立（設立時）

1	(福) 白鳩会	南大隅町
2	(株) オキス	鹿屋市
3	ライズ (株)	鹿屋市
4	(合) 農栄ファーム	鹿屋市
5	(一社) P S 支援機構	鹿屋市
6	(株) ひまわり農苑	鹿屋市
7	(特非) 悠和会	鹿屋市
8	(株) ジャパンピース	鹿屋市
9	(株) みかげ	鹿屋市
10	(株) サンフィールズ	鹿屋市
11	ワークプランニング (株)	鹿屋市
12	(一社) ナガノレーシング	東串良町
13	(株) 瑞ひかり	肝付町
14	(福) 愛生会	大崎町
15	ひふみよベースファーム大崎	大崎町

1	鹿屋市農林水産課
2	大崎町農林振興課
3	東串良町農林水産課
4	錦江町産業振興課
5	南大隅町経済課
6	大隅くらし・しごとサポートセンター
7	大隅地域振興局農林水産部

設立時

- ・ 農業法人 5 社
 - ・ 福祉事業所 7 法人
 - ・ 3 団体
 - ・ 6 地方公共団体
(うち、会員は 3 団体)
 - ・ アドバイザー 2 名
- でスタート

大隅半島ノウフクコンソーシアムの活動

○役員会

・定期的に開催し、組織運営や、大隅半島の抱える課題等を深く討議。毎回、様々な議論・提案がなされ組織運営の要となっており、役員会での提案がプロジェクトに昇華され、運営事業となることも。

○農作業請負工賃案検討

・大隅地域振興局が担当

○各種研修会

・アドバイザーによる先進事例講義、GAP研修会、ノウフクJAS研修会、課題共有WS、ブランディング研修、全国の実践者による講演

○なんぐう地区ジャガイモ農家への援農実証

○お試しノウフクの実施

○マルシェやイベント等への出店

○ノウフクJASマニュアル作成

○小さいプロジェクトの実施

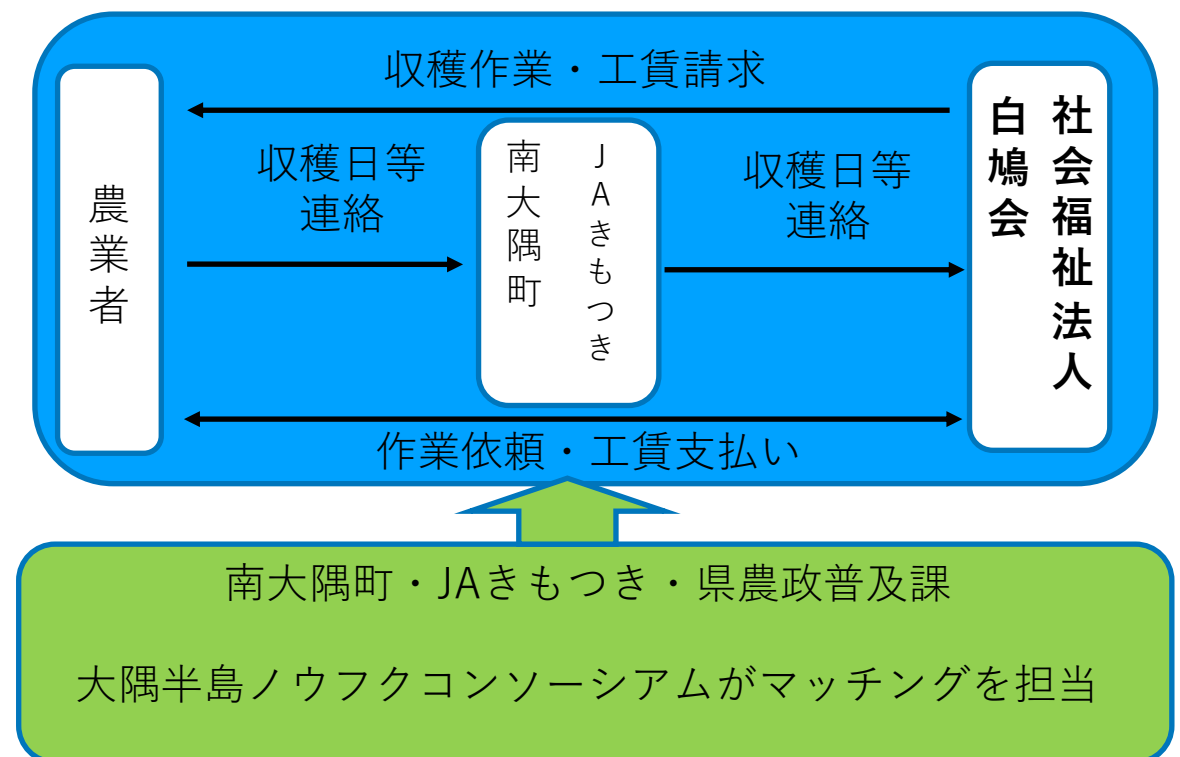
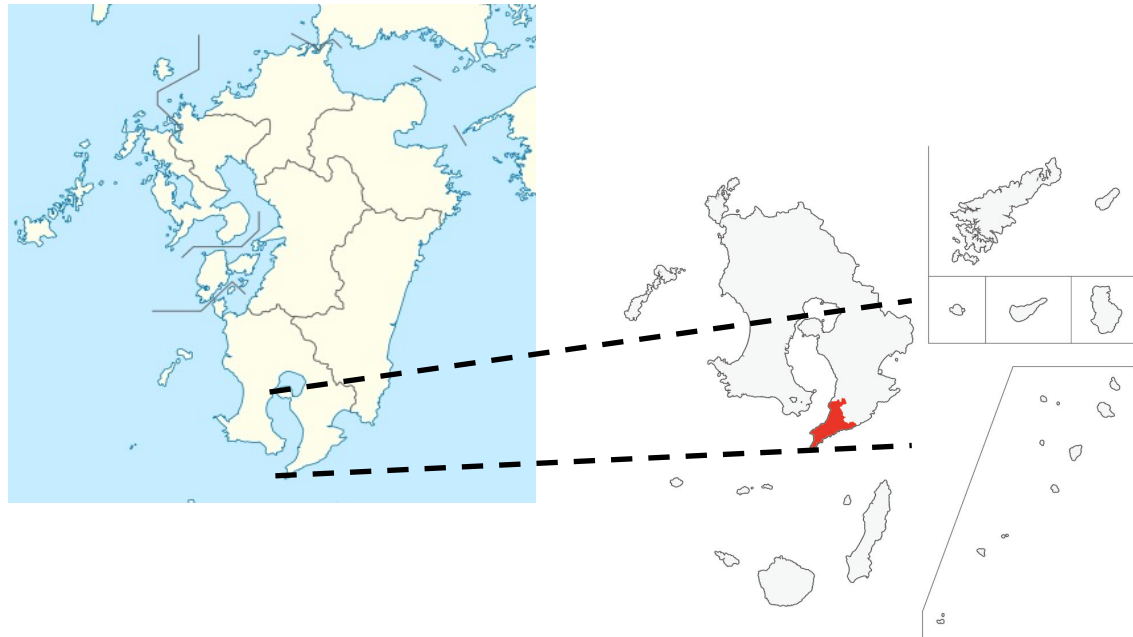
○県外先進事例調査

・京丸園（株）、（株）鈴生、埼玉福興（株）、（社福）ゆずりは会菜の花、パーソルサンクスとみおか繭工房、（社福）青葉仁会、さんさん山城、（特非）縁活、兵庫県立淡路景観園芸学校

大隅半島ノウフクコンソーシアムの活動

「なんぐう地区ジャガイモ収穫作業における農福連携による援農の仕組みづくり実証」

受益面積 3 ha以下、請負工賃12,000円/日、白鳩会から障がい者5名が従事



佐多地区の馬鈴薯農家へ援農実証



援農実証→施設外就労契約へ



- ・ 援農の実証をもとに、委託契約を結び、佐多地区馬鈴薯ノウフク実施。
- ・ 地元農家、福祉事業所、県地域振興局、南大隅町役場、JA鹿児島きもつき、大隅半島ノウフクコンソーシアムが畑に集い、疑問点や契約についての打合せ。
→元々ダイレクトにつながらなかった主体が大隅半島ノウフクコンソーシアムを軸につながった。
- ・ 契約書は長野県のマッチングコーディネーター沖村さんからサンプルをいただいた。
→ノウフクの全国のつながりを活用

皆川会長にもお越しいただきました。



小さいものを美味しく活かして未来へつなぐプロジェクト



・株式会社オキス（副会長）の岡本社長から役員会にて提案

年間25トンを廃棄する「子いも」を農福連携で価値づけることはできないか。規格外のじゃがいもを商品として出荷できないだろうか。



小さいを美味しく活かして未来へつなぐプロジェクト



- ・大型機械で収穫するじゃがいも
- ・規格外のものは機械から自動的に弾かれ廃棄→年間25トン！頭を悩ませていた、、、
- ・大隅半島ノウフクコンソーシアムと連携。
- ・施設側で障がい特性に配慮した作業選定、スケジュール調整をおこなう
(コンソ会員3事業所、約20名)
- ・収穫した小さいものは地元の飲食店・レストランに買い取ってもらい、売上金を障がい者の工賃に。
- ・店舗ごとに新メニュー開発し「じゃがいもフェア」をSNS等でシェア
- ・都市部の企業からの問い合わせ。次年度はこの取組みを大きくできそうな兆し
- ・コンソ内でつながりが生まれ、新たなビジネス創出を検討し始める

小さいものを美味しく活かして未来へつなぐプロジェクト



小さいを美味しく活かして未来へつなぐプロジェクト



NPO法人たがやす



さんさん山城新免施設長のノウフクJAS指導と講演



大隅半島ノウフクコンソーシアム研修会

第1回

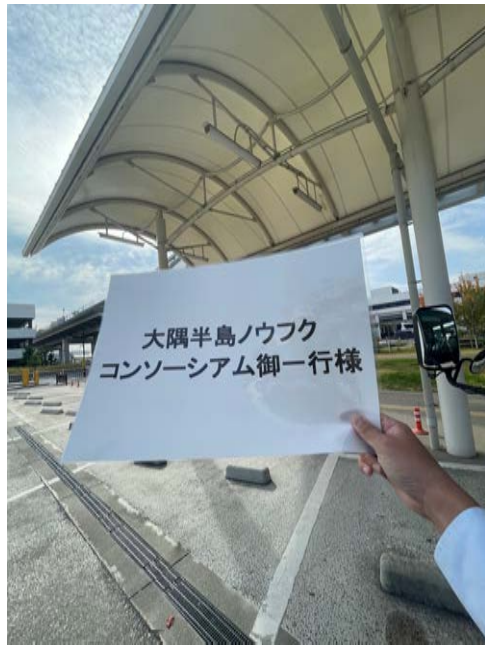
「さんさん山城の 農福連携とノウフクJAS」

講師

さんさん山城施設長
新免 修 氏



関西視察研修



ノウフクマルシェ@二子玉川に出品（ひまわり農苑・今村製茶）



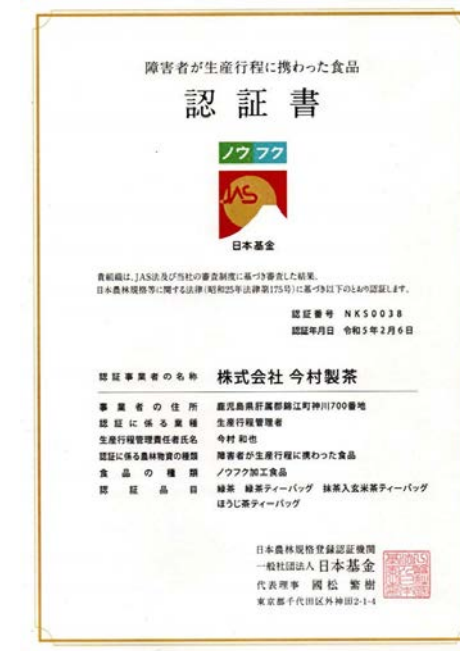
研修や全国との繋がりを通じて、 ONCから2事業所がノウフクJASを取得！



株式会社 今村製茶



H A N A N O K I
F A R M



ノウフク・アワード2022「チャレンジ賞」受賞！



「ノウフク・アワード2022」表彰23団体

No. 1 北海道 新得町

農事組合法人 共働学舎新得農場

- ・ソーシャルファームの草分け的存在
- ・畜産、野菜を主として、チーズ等の加工や6次産業化にも取り組みレストランを経営
- ・チーズでは国際的な賞も受賞

グランプリ

No. 2 山形県 鶴岡市

社会福祉法人 月山福祉会

- ・畜産（短角牛）や野菜・果樹に取り組み認定農業者を取得
- ・高工賃の実現や地域におけるチャリティイベント等の多角的な活動により地域の中心的存在となる

準グランプリ
(未来を耕す)

No. 7 三重県 鈴鹿市

社会福祉法人 朋友 就労継続支援B型事業所Cotti菜

- ・カフェ運営や緑菜製造等、活動の幅を広げた取組により、高い工賃を実現
- ・理事が設立メンバーとして、一般社団法人三重県障がい者就労促進協議会を設立し、県内の普及に貢献している

準グランプリ
(人を耕す)

No. 9 和歌山県 有田川町

社会福祉法人 有田つくし福祉会 早月農園

- ・地域の中核的な取組へと年月をかけて成長、農地も5haと広く温州みかんを中心とした柑橘類を栽培
- ・法人内で6次産業化にも取り組み、高工賃を実現、一般就労移行者も輩出している

優秀賞

No. 10 山口県 阿武町

社会福祉法人 E.G.F のんきな農場阿武事業所

- ・地域の農作業支援を積極的に行うとともに、自ら農業や6次産業化にも取り組み、県平均を上回る工賃を確保し、地域農業を支える存在となっている

優秀賞

No. 11 長崎県 長崎市

社会福祉法人 出島福祉村

- ・びわ茶等の加工品やカフェ運営など幅広い活動を通じ、障害者が一生安心して暮らせる住環境の整備に取り組んでいる
- ・認定農業者となり、社会福祉法人としては日本で初めて6次産業化事業計画の認定を受ける

優秀賞

No. 4 群馬県 前橋市

社会福祉法人 ゆずりは会 菜の花

- ・約14haの農地で障害者23名が野菜栽培に従事
- ・地元農業に対する出荷割合も高く、地域農業の中核として、県平均を大きく上回る高工賃を実現
- ・一般就労移行者も輩出

グランプリ

No. 3 栃木県 小山市

社会福祉法人 パステル 多機能型事業所CSWおとめ

- ・地域の桑生産を守る担い手、桑の葉や桑の実製品で6次産業化にも取り組み、高工賃を実現
- ・来年度からは、地域の「稚蚕飼育事業」をJAから継承

準グランプリ
(地域を耕す)

No. 5 静岡県 静岡市

株式会社 サンファーマーズ

- ・高糖度トマトのハウス栽培により障害者3名を従業員と同じ賃金で雇用し、一人一人が活躍できる環境を整備
- ・地域の幼稚園と食育活動を連携して行っている

優秀賞

No. 6 石川県 内灘町

株式会社 笠間農園

- ・近隣の多数の事業所と連携して栽培面積を数倍に拡大し、地域農業への貢献や工賃の向上を実現
- ・県の農福連携促進アドバイザーとして県内のマッチングにも貢献

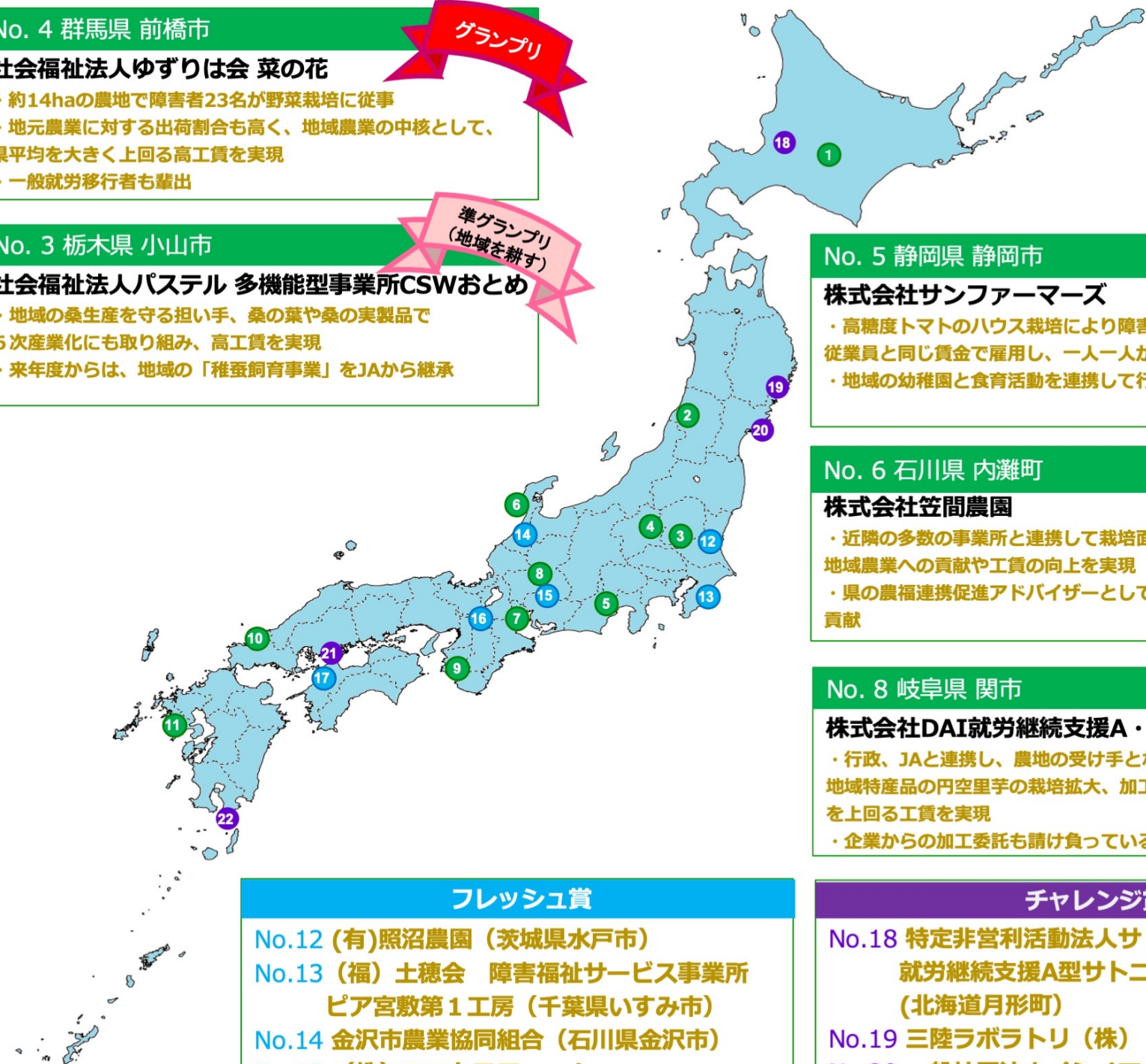
優秀賞

No. 8 岐阜県 関市

株式会社 DAI 就労継続支援A・B型 それいゆ

- ・行政、JAと連携し、農地の受け手となって農業に取り組み、地域特産品の円空里芋の栽培拡大、加工の受託等により県平均を上回る工賃を実現
- ・企業からの加工委託も請け負っている

優秀賞

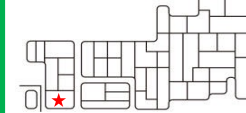


フレッシュ賞

- No.12 (有)照沼農園 (茨城県水戸市)
- No.13 (福)土穂会 障害福祉サービス事業所 ピア宮敷第1工房 (千葉県いすみ市)
- No.14 金沢市農業協同組合 (石川県金沢市)
- No.15 (株)コトモファーム (愛知県犬山市)
- No.16 三休 - SANKYU - (京都府京田辺市)
- No.17 (株)和光ワールド (愛媛県伊予市)

チャレンジ賞

- No.18 特定非営利活動法人 サトニクラス 就労継続支援A型 サトニクラス 酢房 (北海道月形町)
- No.19 三陸ラボラトリ (株) (岩手県大船渡市)
- No.20 一般社団法人 イシノマキ・ファーム (宮城県石巻市)
- No.21 (株)八天堂ファーム (広島県三原市)
- No.22 大隅半島ノウフクコンソーシアム (鹿児島県南大隅町)
- No.23 (福)みやこ福祉会 (沖縄県宮古島市)



- 農業の労働力不足、福祉の販売力強化や障がい者の低工賃という課題を解消するため、大隅地域で農福連携を
実践している団体を結びつける大隅地域のノウフクプラットフォームとして令和３年に設立し、活動を開始した。

基本情報

- 所在地：鹿児島県大隅半島
- 団体名：大隅半島ノウフクコンソーシアム
 - 選定表彰：－
 - 主力商品：－
 - イベント：－



フードロス対策& 農福連携「小いもプロジェクト」

取組の概要

- R3年度は、会員各々の取組における課題・情報を共有し相互連携・協力のもと、現
取組の深化や拡大に向けた活動を外部専門家や支援機関の協力を得て実施。
- R4年度は、会員事業所及び支援機関、行政、アドバイザーと連携を図りながら、各
種研修会や先進事例調査を行う一方、新たな取組としてノウフクJAS取得に向けた活
動などを通じて農産物の付加価値向上・販売力強化に取り組む他、コンソ内での共同栽
培やお試しノウフク、マッチング活動等をおこなっている。



共同農場の試験的な運営

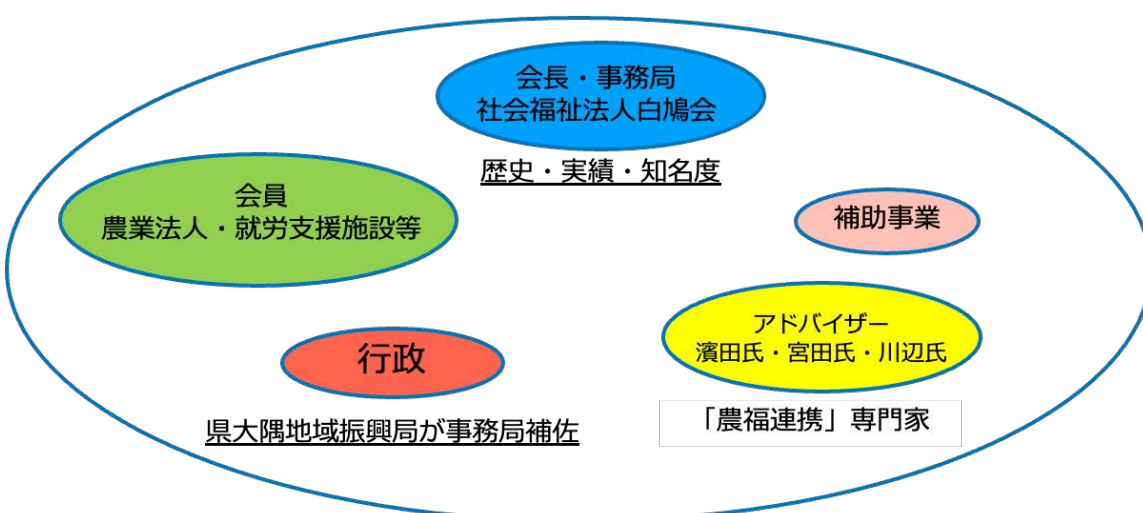


ノウフクJAS研修会



じゃがいもノウフク【過疎地援農】

体制図



取組の成果

- お試しノウフクや共同農場の試験的な運営により、障害者の方だけではなく生活困
窮者等にも農業をはじめめるきっかけづくりや、担い手不足の過疎地への援農、農福
連携による就労の機会を創出できた。
- 会員間で新たに施設外就労契約が結ばれたり、会員同士のビジネスも生まれ、地域
の農林水産業の維持・発展が図られている。
- ノウフクJAS取得に向けて3団体が検討を開始。
- 廃棄されている「小いも」をコンソーシアム全体で収穫し販売するフードロスノウ
フクの実施により福祉事業所の選択肢が増え、小いもを使った販路拡大、子ども食
堂などにも活用されるなど多様な繋がりを創出できた。

所在地▶鹿児島県肝属郡錦江町神川-3306-4 2階図書室（事務局）
連絡先▶TEL:080-5257-3091 FAX：- E-mail:nouhuku.tagayasu@gmail.com
ウェブサイト▶ -

【取組のプロセス】

事業所の利用者や担当者の高齢化、地域の働き手の減少、急激な耕作放棄地の増加、地域活力の低下

～2020年

プラットフォーム
設立提案

2020年10月

県単ポストコロナ
農業生産体制革新
プログラム事業業
の活用

2021年2月～

2021年5月～

中山間地農業ル
ネッサンス推進事
業の活用（R4）

今後の
展望

きっかけ
2020年10月

○大隅地域振興局担当者と福祉施設職員による、「大隅半島農福連携プラットフォーム設立構想」の提案。賛同した現コンソーシアムの役員はじめ関係機関が連携し、議論検討、課題共有を開始。

農福連携の実践者同士のつながりを創出したい!!

- 大隅地域で農福連携に取り組んでいる事業所等は、それぞれの事業所の取組は既知であったものの、点的な取組が多く、各事業所が抱える課題などを共有する状況にはなかった。
- それぞれの事業所が抱える課題や将来に対する考え方は、農福連携の枠組みに止まらず、地域をどのように振興していくかという広範なものであった。
- （社福）白鳩会がノウフクアワード2020グランプリ獲得し大隅半島に注目が集まる。

広範な地域課題解決のための多様な連携を!!

- 「大隅半島農福連携プラットフォーム設立構想」に賛同する仲間づくりと補助金申請書類作成開始。農業サイド、福祉サイド双方が持つ人的ネットワークを最大限活用し、15事業所が参画。（現在は農業法人6社、福祉事業所9法人、3団体、6地方公共団体、アドバイザー3名で運営している。）

大隅半島ノウフクコンソーシアムを設立、本格活動開始

- 令和3年5月に設立総会を開催し、その後、役員会の定期開催、優良事例共有会、大隅半島における課題共有WS、ノウフクJAS研修会、経営に活かすGAP研修会、ブランディング・マーケティング研修会、先進事例調査、おとしノウフク、請負工賃の標準工賃策定検討等をおこなう。
- 令和4年度は、引き続き①農福連携に関する研修・先進事例調査研修、②ノウフクJAS取得支援及びノウフク製品のブランディング、③農福連携新規取組の掘り起こし・マッチング・取組支援、④会員事業所による共同栽培農場の運営、⑤地域における請負作業標準工賃の策定を重点取組事項として取り組んでいる。

～誰一人取り残さない大隅半島の課題解決プラットフォームに！～

- 大隅半島の農福連携推進はもちろん、会員各社の課題解決を図る一方、新たに農福連携に取り組みたい事業者へのサポート等をおこなうことで、大隅半島の農業振興にも寄与していく。
- 大隅半島の課題は農業と福祉以外にも多く存在する。これらの地域課題の中にも「ノウフクを基軸にすることによって」解決できる可能性が広がる。



行政・JA・地元農家との打合せ



R3.5月設立総会後の記念撮



令和4年度も活動スタート



実践を学ぶ関西視察研修

いもプロジェクトのフライヤー

大隅半島ノウフクコンソーシアム3年目スタート！



大隅半島ノウフクコンソーシアム3年目スタート！

大隅半島ノウフクコンソーシアム
農福連携研修会

農福連携と 自然栽培

講師

社会福祉法人 ゆずりは会
小淵 久徳 氏



日時 : 令和5年8月30日
15時00分～17時30分

場所 : (株)オキス 会議室
鹿屋市下高隅町5454-11

内容 : 15:00～ 小淵氏 講話
16:30～ 会員事例発表

参加費 : 無料

問合せ先 : NPO法人たがやす
nouhuku.tagayasu@gmail.com

ゆずりは会の実践紹介

- ・ 2022年度には就労継続支援B型で工賃76,000円を達成
- ・ 地域の耕作放棄地を借り受け、玉ねぎやお米など10品目を生産
- ・ 近隣農家約60戸と連携し、援農、作業交換、米苗販売、ライスセンター事業を実施
- ・ 慣行農法を行う一方で自然栽培農法による栽培や商品開発を行う
- ・ 地元の学校や保育所、特別支援学校と連携し、農業体験や実習生の受け入れを行っている。
- ・ 自然栽培パーティ「一反パートナー」ではCASIO計算機と連携し、企業連携も積極的に進めている。

3年目：仲間が増増えています

大隅半島ノウフクコンソーシアム 会員名簿 R5.8.30現在

	事業所名	代表者名	所在地	区分
1	(社福) 白鳩会花の木農場	中村 隆一郎	南大隅町根占川北9466-8	福祉
2	(株) オキス	岡本 孝志	鹿屋市下高隈町5454-11	農業
3	ライズ(株)	草葉 正司	鹿屋市東原町6874-4	農業、福祉
4	(合) 農栄ファーム	浅山 貴史	鹿屋市輝北町下百引113-2	農業
5	(一社) パーソナルサービス支援機構	大倉 一真	鹿屋市西原2-18-33	福祉
6	(有) サンフィールズ	久木田 敬一	鹿屋市東原町5934-45	農業
7	(株) ひまわり農苑	郷原 親盛	鹿屋市西原4-12-15	農業
8	NPO法人悠和会	末吉 正志	鹿屋市祓川町4128-4	福祉
9	(株) ジャパンピース	土橋 哲人	鹿屋市笠之原町5-58-2	福祉
10	(有) みかげ	前原 文寛	鹿屋市西祓川町576-1	福祉
11	(一社) ナガノレーシング	永野 真悟	東串良町新川西5096-3	福祉
12	(株) 瑞ひかり	中村 悠喜	肝付町前田2612-2	農業
13	(株) 今村製茶	今村 和也	錦江町神川2173-1	農業
14	(社福) 愛生会	新平 金道	曾於郡大崎町菱田3596	福祉
15	(株) ひふみよベースファーム大崎	諸木 大地	曾於郡大崎町菱田948-2	福祉
16	ワークプランニング(株)	井手 誠	鹿屋市北田町3-3-21	人材紹介 人材派遣
17	(社福) 敬心会 自立支援センター太陽の丘	桑山 靖子	鹿屋市今坂町12560-1	福祉
18	JA鹿児島きもつき	下小野田 寛	鹿屋市白崎町1-1	農業
19	(株) 上鶴畜産	上鶴 広己	錦江町神川2992	農業
20	駿河木材(有)	大竹野 千里	南大隅町根占横別府4192	林業
21	NPO法人たがやす	馬場 みなみ	錦江町神川3306-4 旧神川中学校2階図書室	地域振興
22	合同会社シスルナベース	浜洲 充哉	鹿屋市上野町5092-1	スマート 農業
23	NPO法人リトルオレンジズ	日野 尚子	鹿屋市寿8-10-4	福祉
24	南大隅町		南大隅町根占川北226	支援
25	錦江町産業振興課		錦江町城元963	支援
26	錦江町介護福祉課		錦江町城元963	支援

大隅半島ノウフクコンソーシアム 会員名簿

	事業所名	代表者名	所在地	区分
27	大隅地域振興局農政普及課		鹿屋市打馬2-16-6	支援
28	大隅地域振興局保健福祉環境部地域保健福祉課		鹿屋市打馬2-16-6	支援
29	大隅くらし・しごとサポートセンター		鹿屋市打馬2-16-6	支援
30	大崎町農林振興課		曾於郡大崎町假宿1029-1	支援
31	大崎町保健福祉課		曾於郡大崎町假宿1029-1	支援
32	肝付町農業振興課		肝属郡肝付町新富98	支援

アドバイザー

1	東海大学文理融合学部経営学科 教授	濱田 健司
2	(株)農都共生総合研究所 代表取締役	川辺 亮
3	元鹿屋市副市長 (農林水産省食品安全政策課課長補佐)	鈴木 健太
4	社会福祉法人ゆずりは会 理事	小淵 久徳

支援機関

1	鹿屋市農林商工部農政課
2	東串良町農林水産課

大隅半島ノウフクコンソーシアム 成果と課題

- 会員事業所間のつながりが創出できた。（点から面へ）
- 事業を通じて課題を共有することができた。
 - 解決への取組みは引き続き検討・実践
- 研修や視察を通じ、会員が納得感を得て農福連携に取り組むことができてい
- る。
- 会員間でビジネス取引が発生する（加工の委託、共同のプロダクト開発、施設外就労契約など）案件も出てきている。
- 取組みにより、市町村に認知されるようになった。
 - 生産牛農家11戸を対象にしたヘルパー組合からの請け負いで、畜産ノウフクの取組がスタートする案件も。（東串良町）
 - 活動実績を蓄積していくことによって、自治体の仲間が増えた。
- 事業を通じて、ノウフクJASを取得した団体が2件。

課題

- 「マッチング」への対応（共同受注センターあり）
- 活動費の確保
- 自治体の熱量の差
- 福祉部局との連携（県によっても差がある。）
- 販路の拡大

ご清聴ありがとうございました。

